

第102春季年会(2022)のお知らせ:各種募集概要

第102春季年会実行委員会

3年ぶりの現地開催となる第102春季年会に向け、講演、出展、広告の募集概要についてご案内します。会員の皆様の積極的な参画により現地でお会いできることを楽しみにしております。なお、本稿執筆時点では、現地開催に向けて準備を進めておりますが、COVID-19感染状況により開催方式の変更の可能性もございます。最新情報は春季年会のウェブサイトにて随時公開していきますので、そちらも併せてご覧下さい。

主 催	公益社団法人 日本化学会
会 期	2022年3月23日(水)~26日(土)
開催方式	関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス
	※今後のCOVID-19感染状況によりオンライン方式に変更の可能性あり
実行委員長	松本 卓也 (大阪大学大学院理学研究科・教授)
重要な日程	講演申込期間 10月27日~12月1日 予稿原稿提出期間 12月6日~1月12日 参加登録期間 (早期申込) 10月27日~2022年2月中旬 (直前申込) 3月初旬~会期最終日 プログラム公開日 2022年1月17日(予定) 講演予稿集発行日 2022年3月9日(予定)
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 URL: https://confit.atlas.jp/guide/event/csj102nd/top

第102春季年会における留意点は以下のとおりです。

- 本会では、年会の国際化を推進する中で英語での講演を推奨しています。会員各位のご協力で英語講演件数は顕著に増加しており、第100春季年会での口頭B講演の英語化率は、64%となりました。
- 第102春季年会では、さらなる講演の英語化率の向上を目指します。つきましては、
 - ・「年会発表経験者」には、引き続き英語での講演に積極的に取り組まれますことをお願いいたします。
 - ・「口頭B講演」、学術関連の「受賞講演」「特別講演」に該当する方には、英語での講演を強く推奨いたします。
 - ・ポスター発表につきましては、ポスターパネルの英語での作成を強く推奨いたします。
- 第101春季年会より適用された『年会改革』に伴い、講演者の条件、講演賞、申込分類が変更となっています。

1 講演申込概要

講演申込の概要は以下の予定です。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧下さい。

[注意事項]

- ・理由の如何にかかわらず、講演の申込期間の締切日を過ぎたのちの講演申込および申込内容の変更は一切認めません。
- ・第101春季年会から、講演申込フォームが従来のシステムから刷新されています。申し込みは十分な時間の余裕をもって行って下さい。なお、締切間際の問合せには対応できない状況が想定されます。

1.1 期間

2021年10月27日~12月1日

1.2 申込方法

春季年会ウェブサイトよりお申込み下さい。

1.3 講演内容と講演者の条件

講演内容は未発表のものに限ります。講演申込は日本化学会の個人会員に限り、1件までとし、申し込みをした本人が講演を行って下さい。なお、口頭B講演の発表資格が

撤廃され、どなたでもお申込みが可能です。

1.4 形式および講演時間

形式	内容
口頭A講演	10分(講演7分・討論2分・交代1分)
口頭B講演	20分(講演15分・討論4分・交代1分)
ポスター	45分

1.5 発表言語

英語もしくは日本語とします。プレゼンテーション時に使用するスライドやポスターデータは英語での作成を強く推奨いたします。なお、発表言語に「英語」を選択した場合は、すべて英語で作成して下さい。

1.6 講演申込分類

本年会では次の23部門で発表を募集します。申込時には部門および編成仕分け用のカテゴリを選択する必要があります。成仕分け用のカテゴリについてはウェブサイトにてご確認下さい。

01 化学教育・化学史／02 理論化学・情報化学・計算化

学／03 物理化学—構造／04 物理化学—物性／05 物理化学—反応／06 分析化学／07 無機化学／08 触媒／09 錯体化学・有機金属化学／10 有機化学—有機金属化合物／11 有機化学—構造有機化学／12 有機化学—有機結晶・超分子化学／13 有機化学—反応機構・光化学・電気化学／14 有機化学—芳香族・複素環・ヘテロ原子化合物／15 有機化学—脂肪族・脂環式化合物・新反応技術／16 天然物化学・ケミカルバイオロジー／17 生体機能関連化学・バイオテクノロジー／18 高分子／19 コロイド・界面化学／20 材料化学—基礎と応用／21 エネルギーとその関連化学・地球・宇宙化学／22 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー／23 CIP ポスター

1.7 各種講演賞

本年会では「学生講演賞」・「優秀講演賞（産業）」を設け、優れた講演を顕彰します。各講演賞の対象者・発表形式・対象部門等は下表のとおりです。講演申込時に審査希望の旨、該当欄にチェックを入れて下さい。優秀講演賞（詳細）については、本誌 804 ページに産学交流委員会からのご案内がございますのでそちらも併せてご参照下さい。

項目	学生講演賞	優秀講演賞（産業）
対象者	博士後期課程の学生会員であり、かつ、過去に本賞を受賞していない者	2022 年 4 月 1 日時点で満 40 歳に達していない正会員および学生会員
発表形式	口頭 B 講演	ポスター
発表言語	英語	日本語 または 英語
対象部門	全部門	部門23：CIP ポスター
授与委員会	年会実行委員会	産学交流委員会

1.8 発表機材

（口頭）すべての会場に PC（Windows）を用意します。講演者は発表資料を USB メモリで持参して下さい。
（ポスター）ポスターボード（縦 210 cm × 横 90 cm [予定]）と画鋲を用意します。

2 講演予稿原稿

2.1 提出期間

12 月 27 日～2022 年 1 月 12 日

※提出期間の最終日を過ぎた時点で予稿原稿未提出の場合、講演申込が中止されたものとみなされます。

2.2 作成方法

春季年会ウェブサイト上の、「予稿原稿作成要項」にそつて PDF ファイルで作成して下さい。春季年会ウェブサイトにおいてテンプレート（雛型）を配布しています。

2.3 表記言語

英語版および日本語／英語併記版のテンプレートを用意しています。発表言語が英語の場合には英語版での作成を推奨します。なお、日本語のみでの作成はお控え下さい。

3 講演予稿集

3.1 発行日

2022 年 3 月 9 日（予定）

3.2 発行形式

形式	内容
Web	参加登録した方が春季年会ウェブサイトにて閲覧およびダウンロード可能です。なお、会期が終了して 3 カ月のうち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。

※講演予稿集の DVD, USB, 冊子体の各媒体は廃止されました。

4 参加登録概要

参加登録の概要は以下の予定です。講演申込者・講演者（登壇者）・連名者（共著者）の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧下さい。

4.1 期間

（早期参加申込）10 月 27 日～2022 年 2 月中旬

（直前参加申込）2022 年 3 月初旬～会期最終日

4.2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、期日内に参加登録費をお支払い下さい。

4.3 参加登録費

参加登録費および支払い方法は下表のとおりです。

会員区分	参加登録費（早期申込）	参加登録費（直前申込）	課税区分
正会員	15,000	18,000	不課税 ※税の適用の対象外
法人正会員 ^{*1}	15,000	18,000	
正会員割引 ^{*2}	10,000	10,000	
学生会員	5,000	6,000	
学生会員割引 ^{*3}	4,000	4,000	
教育会員	8,000	10,000	
教育学生会員	6,000	7,000	
中高生会員 ^{*4}	4,000	—	課税 ※左記の金額は税込
非会員	27,000	30,000	
入会準備学部学生 ^{*5}	2,000	—	
外国籍（一般） ^{*6}	8,000	10,000	
外国籍（学生） ^{*6}	3,000	4,000	

※1 日本化学会の法人会員に登録している機関に所属の方。

※2 満 60 歳以上で定職に就いていない方（シニア会員）。

※3 学部 3 年以下の方（専攻科 1 年以下の高専生を含む（通称：ジュニア会員）。

※4 講演をする場合。聴講のみの場合は招待とします。

※5 研究発表を行わない非会員（未入会）の大学の学部学生および高等専門学校の学生が対象。

※6 会員・非会員を問わず、外国籍の方が対象。

4.4 支払い方法

支払い方法は下表のとおりです。支払い完了後、参加登録フォーム内にて領収書を発行します。領収書の発行は PDF 形式のみです。なお、請求書の発行はありません。

参加申込時期	支払い方法
早期参加申込	銀行振込、クレジットカード払い
直前参加申込	クレジットカード払い

E-mail: s_matsueda@chemicaldaily.co.jp

6 広告募集概要

詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧下さい。

6.1 募集広告一覧

媒体名	掲載場所等
①ウェブサイト・バナー	102 春季年会トップページへのバナー広告掲載。申込隨時掲載予定。
②年会アプリ・バナー	102 春季年会アプリのトップページへのバナー広告掲載。限定 3 社
③年会アプリ・スプラッシュ広告	102 春季年会アプリ起動時に表示される広告。限定 1 社

6.2 お問い合わせ先

②年会アプリ・バナー, ③年会アプリ・スプラッシュ広告

(株)化学工業日報社 企画局 担当: 松枝

電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861

E-mail: s_matsueda@chemicaldaily.co.jp

①ウェブサイト・バナー, ②年会アプリ・バナー, ③年会アプリ・スプラッシュ広告

(株)明報社 担当: 後藤

電話 (03) 3546-1337 FAX (03) 3546-6306

E-mail: goto@meihosha.co.jp

第 102 春季年会(2022)「優秀講演賞(産業) “CSJ Presentation Award 2022 for Industries”のご案内

産学交流委員会 委員長 福田 伸

日本化学会産学交流委員会では、平成 20 年度から「優秀講演賞(産業)」の表彰を行っています。来る 2022 年 3 月 23 日(水)～26 日(土)，関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパスにて開催される標記年会においては、下記要領で審査・選考を行い、優れたポスター講演者に対して「優秀講演賞(産業)」を授与します。

「CIP ポスター～シーズとニーズのマッチングの場～」で企業の審査委員が講演者と質疑応答を行い産業界の視点で審査します。基礎研究から応用研究まで様々なテーマの応募が、産学官の研究者および学生からされることを期待しています。これまでの P1～P5 の審査分野に加え、従来の審査分野には該当しない分野でも応募できるよう P6 ハイライト分野を委員会で選定しています。今年度は「P6. マテリアル化学」と設定しました。新たな機能開拓や性能向上にむけた材料合成、構造などの物性評価、反応機構解明など、マテリアル化学に関する講演の応募をお待ちしております。有機材料、無機材料、有機無機ハイブリッド材料、ガラス材料、結晶材料、薄膜材料、低分子材料、高分子材料、ナノ材料、コロイド材料、生体材料、マテリアルインフォマティクスなど、マテリアル化学に関する研究はすべて応募可能です。奮って応募下さい。

選考対象者：

2022 年 4 月 1 日時点で満 40 歳に達していない正会員および学生会員で、講演申込時に審査希望を申請した者。過去の受賞経験者は、研究内容がまったく異なる場合、あるいは研究開発ステージが上がるなど研究の進展が顕著な場合に限り対象とします。

審査対象：

「CIP ポスター～シーズとニーズのマッチングの場～」

審査分野：

下記 P1～P6 の 6 つの産業適用分野を審査分野とします。講演申込時に審査分野を明記して、審査希望を申請して下さい。

- P1. エネルギー (例: 創エネ, 蓄エネ, 送エネ, 節エネ, 等々)
- P2. 資源・環境・GSC (Green Sustainable Chemistry) (例: 炭素資源, レアメタル, 化学プロセス, 触媒, 水処理, 等々)
- P3. 新素材 (例: 自動車素材, 航空用素材, 建築素材, 構造材, 包装材, 繊維, 等々)
- P4. 通信・エレクトロニクス (例: プリンテッドエレクトロニクス, 有機エレクトロニクス, 等々)
- P5. 医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー (例: 創薬, 診断薬, 人工臓器, 再生医療, バイオ品種改良, 農薬, 肥料, 香粧品, 等々)
- P6. 本年度のハイライト分野「マテリアル化学」(例: 有機材料, 無機材料, 有機無機ハイブリッド材料, ガラス材料, 結晶材料, 薄膜材料, 低分子材料, 高分子材料, ナノ材料, コロイド材料, 生体材料, マテリアルインフォマティクス, 等々)

発表言語 :

日本語または英語

選考方法 :

産学交流委員会関連の企業委員, 日本化学会フェローなどの他, 委員より推薦され委嘱された企業審査委員が選考基準に基づいて審査し, 会期後に CIP 企画小委員会で選考を行い, 産学交流委員会で決定します。

選考基準 :

産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念, アイディア, 実験手法, 実験結果などについての発表であり, 講演者の研究に対する主体性や貢献度が優れ, かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの。

授与件数 :

概ね 20 件に 1 件の割合で授与します。

賞状の授与 :

日本化学会会長名の賞状を授与します。年会終了後, 日本化学会から所属長を経由して本人に賞状を送付し, 後日, 「化学と工業」誌に氏名, 所属, 演題などを掲載します。

第 16 回 PCCP Prize 受賞候補者の募集について

日本化学会運営会議

Royal Society of Chemistry (RSC; 英国王立化学会) が発行する学術誌 PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) ならびに Faraday Discussion では “PCCP Prize” を設けており, RSC の協力依頼に応じ本会理事会承認の下, 2007 年から毎年, 数名の受賞候補者の公募を行っております。本年度も受賞候補者を募集いたしますので, 奮ってご応募, ご推薦願います。なお, 本賞の選考対象・応募資格・応募方法などは下記のとおりです。

■名称 :

PCCP Prize

■授賞機関 :

Royal Society of Chemistry
PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) and Faraday Discussion

■選考対象・選考基準 :

本会会員 (ディビジョン登録者) で, 物理化学, 光化学, 理論化学, 無機化学, 錯体化学・有機金属化学, 高分子化学, 触媒化学, 分析化学, 電気化学, コロイド・界面化学, ナノテク・材料, など PCCP がカバーする領域で傑出した研究成果があり, 将来の活躍が期待される若手研究者 (受賞年 2022 年 4 月 1 日時点で満 35 歳未満の方) で, かつその成果の一部を自身が日本化学会第 102 春季年会で発表する者 (□頭 B 講演および各種受賞・招待講演; □頭 A 講演は除外)。なお, 日本化学会進歩賞との同時受賞はできません。

■応募・選考方法 :

※応募 (自薦, 他薦) :

本会ウェブサイトから①所定の用紙をダウンロードし, 所定事項を記入の上, ②論文リストおよび③最近 (なるべく過去 3 年以内) 掲載された論文別刷り 1 報, を添付の上, 登録ディビジョン宛てにお申し込み下さい。

※ディビジョン推薦 :

ディビジョン主査は, 当該ディビジョンに応募のあった候補者が複数名の場合には順位をつけた上で, 受領した応募書類のすべてを日本化学会内「PCCP Prize 選考委員会」宛てに転送し推薦を行う。「PCCP Prize 選考委員会」はディビジョン主査から推薦のあった候補者の業績内容を審議し, 3 名程度の受賞者を選定する。受賞候補者は日本化学会理事会に報告し, 承認を得る。

■授賞の内容 :

PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) から賞状 (PCCP Prize Certificate for Outstanding Achievement of Young Scientists in Physical Chemistry and Chemical Physics) を授与。

賞状、賞金および副賞（記念誌：100 Year of Physical Chemistry, Royal Society of Chemistry）が贈呈されます。また後日、会誌「化学と工業」および本会ウェブサイトならびにRSCサイトにおいて受賞者氏名、所属、受賞題名を公表されるとともに、RSCジャーナルへの論文投稿の依頼がございます。

■授賞件数：

3件程度。

■書類の提出締切および選考日程：

※当該ディビジョン主査宛て応募の締切日：2022年1月10日(月)(必着)

ディビジョン主査/幹事名は本会ウェブサイトをご覧下さい（申込み先ディビジョンのE-mailアドレスがおわかりにならない場合には、下記連絡先までご照会下さい）。また、ご提出の際には、本会にもなるべく写し(cc)をお送り下さい。

※ディビジョン主査から日本化学会内「PCCP Prize 選考委員会」宛て提出締切日：2022年1月20日(木)

※「PCCP Prize 選考委員会」：2021年2月末までに受賞候補者を選考予定。受賞者として選出された方には3月初旬頃に内定の連絡をいたします。

■問合せ先：

〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5 公益社団法人 日本化学会事務局 E-mail: pccp@chemistry.or.jp

企画部PCCP係（電話（03）292-6163 FAX（03）3292-6318）

PCCP専用ホームページ：<https://www.chemistry.or.jp/activity/international/PCCP/pccp-boshu2022.html>

会費一括納入制度について（2022年度）

会員委員会

会員委員会では会員増強・維持を図るため、会員サービスの改善や会員制度について検討し、2012年度（平成24年度）より、所定の会費を一括納入していただいた国内在住の個人正会員の方を通称：終身会員とし、以降の会費納入が不要となる会費一括納入制度を導入しました。

ここに、2022年度（令和4年度）の会費一括納入制度のご案内をお知らせいたします。

会費一括納入制度のQ & A

Q：対象となる会員は？

A：国内在住の個人正会員（シニア会員を含む）となります。

Q：一括納入金額と対象となる年齢（生年月日）区分は？

A：申請時の年齢により7万円と4万円の2区分があります。

2022年度は、2021年12月31日現在、

満58歳から満63歳（生年月日：1958年1月1日～1963年12月31日）の方は、7万円

満64歳以上（生年月日：1957年12月31日以前）の方は、4万円となります。

請求年度	満58歳～満63歳までの方 (7万円)	満64歳以上 (4万円)
2022年度	生年月日：1958年1月1日～1963年12月31日	生年月日：1957年12月31日以前
2023年度	生年月日：1959年1月1日～1964年12月31日	生年月日：1958年12月31日以前
2024年度	生年月日：1960年1月1日～1965年12月31日	生年月日：1959年12月31日以前
2025年度	生年月日：1961年1月1日～1966年12月31日	生年月日：1960年12月31日以前

Q：申請の方法は？

A：下記、会員GへE-mailまたはFAXでご連絡下さい。会員Gにて年度請求から会費一括納入請求へ変更いたします。ただし部会費や論文会費等は従来通りの請求となりますのでご承知おき下さい。

Q：一括納入の方法は？

A：郵便局からの振替払込またはマイページからのクレジットカード決済となります。

Q：会員の種類はどうなりますか？

A：会員の種類は、個人正会員です。ただし会費を一括納入していただいているので通称を終身会員とします。

問合先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 公益社団法人日本化学会 総務部会員G

電話（03）3292-6169 FAX（03）3292-6317 E-mail: member@chemistry.or.jp